

医療法人社団 誠仁会を受診された患者さまへ

当会では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

施設名	誠仁会 みはま成田クリニック・みはま香取クリニック
研究課題名 (研究番号)	透析患者における大動脈弁狭窄症 (Aortic valve stenosis : AS) の実態と弁置換手術の予後 (23-014)
当会の研究責任者 (所属)	白井厚治 誠仁会みはま病院 内科
他の研究機関および 各施設の研究責任者	ありません
本研究の目的	<p>透析患者さんでは、大動脈弁狭窄症Aortic valve stenosis (AS) がしばしばみられ、本症は進行性であり、放置すると突然死を起こします。本症は、自覚症状が重症化するまで現れないため、発見が遅れ、弁置換手術も手遅れとなる場合もあり、それに対して、当施設では、2012年から毎年、心臓超音波検査（心エコー）を施行し、大動脈弁狭窄症の早期発見と、心臓外科医にお願いし弁置換術を施行する推奨時期を逃さない体制を取ってきました。</p> <p>今回、この大動脈弁狭窄症の発生の実態を把握するため、2016年から2022年8月まで、本症と診断された患者さんを追跡し、大動脈弁狭窄症の頻度の推移、また、手術を受けた方の生命予後について明らかにすることにし、今後の対処法の改善につなげたいと考えました。</p>
調査データ 該当期間	2016年1月1日—2022年8月30日
研究の方法 (使用する試料等)	過去のカルテを参照し、大動脈弁狭窄症に罹患された患者さんについて、先ず、その頻度の継時推移、その原因検索のため、背景因子として、腎不全になられた元の疾患、透析期間、さらに各種生化学検査を調べます。大動脈弁置換術を受けられた方（開胸術、TAVI法）については、その生命予後を調べます。また、手術を受けられなかった方の生命予後についても調べ、弁置換術の有用性を明らかにします。さらに手術を受けられた方で半年以内に亡くなられた方については、その原因を調べ、手術予後改善のための方策を確立します。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	なし
個人情報の取り扱い	患者さん名は、登録した際、番号化し、実名などは、わからないようにします。
本研究の資金源 (利益相反)	特に資金は必要ありません。利益相反はありません。
お問い合わせ先	誠仁会 みはま病院 内科 白井厚治 電話： 043-271-2200